



2014～2015年度 ROTARY CLUB OF TOYOKAWA HOI CLUB WEEKLY

やらまいか

例会日/毎週火曜日 12:30 例会場/豊川商工会議所

会長/滝下 勲 幹事/伊藤正幸 会報委員会/河本圭史・大場 篤

事務局/豊川市豊川町辺通4-4 豊川商工会議所会館内 TEL0533-86-2535 Fax0533-86-8889

HP/<http://toyokawahoi.tank.jp>

クラブテーマ: 和の心と・地元へ奉仕を

本年度第17回 通算1363回 平成26年11月4日(火)	出席報告	会員総数	出席者数	出席率	10/21 修正出席率
		59名	39名	55.8%	98.1%

ゲスト: 地区ポリオプラス委員会 横井 定委員長 ビジター: (なし)

★会長あいさつ

滝下 勲会長



こんにちは。昨日、ワールド・フード・ふれ愛フェスタに行きまして。社会奉仕の大島委員長と委員会メンバー、

会長、副会長、幹事で行きまして。偶然にもポリオのコーナーで、本日の講師の横井さんにもお会いすることが出来ました。地区のロータリーデーの視察を兼ねて行きました。ワールド・フードということで、世界の食べ物やビール、その他雑貨などが販売されていました。事前に買って行ったチケットを使ってドイツビール、インド料理、台湾料理、ブラジル料理、ベルギービールなど食べて来ました。昨日は天気も良かったので、多くの方が来られていました。来年度も地区は開催を予定しているようです。今回行かれなかった方は、是非、来年は参加してみると良いかと思っております。

来週は、1泊の親睦旅行があります。ゴルフをされている方は、一度は行ってみたいゴルフ場一つに川奈があります。バスには、まだ余裕があるようですので、まだまだ募集をしています。是非ご参加をお願いします。

★幹事報告

伊藤正幸幹事

例会臨時変更のお知らせ
新入会員候補者の通知について
広島豪雨災害支援の報告について

★委員会報告

親睦委員会 (大場副委員長)
秋の行楽について
クリスマス家族会開催について

★ロータリー財団担当例会

委員長あいさつ

柴田浩志委員長



今月はロータリー財団月間です。先週、米山月間で米山寄付のお願いがあったばかりですが、今月はロータリー財団への寄付

の協力をお願いします。ロータリー財団の名前は良くご存じだと思いますが、詳しい内容については、分からない方も多くお見えになると思います。ロータリー財団は、多くの委員会があるので、本日の講師の卓話を聞いてご理解頂きたいと思っております。

現在は、毎年一人150ドルの協力をお願いします。この資金が、ポリオ・プラス活動式になったり、地区補助金になったりしています。我々が直接ロータリー活動をしていなくても、我々が寄付した資金を他のクラブの活動の補助に使われています。これも一つのロータリー活動だと思います。多くの皆さんからのご理解とご協力をお願いします。

卓話「改革～新しいロータリー財団」

横井 定委員長

こんにちは。
ロータリー財団
の卓話をさせて
頂きます。



ロータリー財
団の使命として
は、教育の推進、
きれいな水の提

供、平和の構築、母子の健康の支援、地元経済への支援、疾病の予防のための補助金を通じて、使命を果たすことに多大な力を注いでいます。

2007年からロータリー財団の使命は変わりました。ロータリアンが健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成出来るようにすることです。それは具体的に RI 理事会と管理委員会が、ポリオ・プラス・プログラムを完遂することでポリオ撲滅の目標を達成し、友好と理解を助長する教育的および文化的プログラムを強調し充実させ、世界のあらゆる地域において人道的ニーズを満たす補助金を申請し、人々の中の平和な関係を深めるためにプログラムを拡大することです。

世界の喫緊の課題をリサーチし「財団の使命」を見直し、「未来の夢計画」と称した改革を打ち出しました。2010-2013年度(3年間)未来の夢計画パイロット期間を経て、2013-2014年度より「未来の夢計画」の世界展開をしました。

特徴は、選択と集中で、効果的かつ継続的な成果のあがるプロジェクトの推進を求めています。①すべてのプログラムを簡素化することとして、プログラムの選択と集中、Rotary International Web サイトの大幅改定、申請手続きの簡素化。②プログラムの成果も内容も未来の夢計画に沿ったものにする事として、重点6分野としました。(平和と紛争予防/紛争解決、疾病予防と治療、水と衛生、母子の健康、基本的教育と識字率向上、経済と地域社会の発展) ③地区レベル、クラブ・レベル、においてロータリー財団へより一層参加し、自分たちの財団と自覚することとして、使い易い補

助金・効果的な補助金として活用するために、シェアシステムの導入、補助金システムの簡素化をしました。(地区補助金 と グローバル補助金)

以前のロータリー財団プログラムの中では、ロータリー平和および紛争解決研究プログラムとポリオ・プラス・プログラム継続されています。その他は、地区補助金プログラムとグローバル補助金プログラムに統合されました。

2014-15年度のロータリー財団目標は、2018年までにポリオを撲滅すること、継続的な寄付を通じてロータリー独自かつ唯一の慈善事業を支援すること、新しい補助金プログラムを通じて、効果的で持続可能な教育的・人道的プロジェクトを実施すること、ロータリー平和センター・プログラムの推進と広報を通じて、世界理解、親善、平和を育むことです。「ロータリアンが奉仕のためにお金を出し、奉仕のためにお金を使う、奉仕の充実のために、基金の充実を！」地区は、努力目標として、一人当たり150ドル寄付を推奨しています。

地区ロータリー財団委員会の組織は、資金管理委員会、資金推進委員会、補助金委員会、職業研修チーム委員会、財団奨学・学友・平和フェロシップ委員会、ポリオ・プラス委員会があります。

本年度の地区補助金の利用状況として、補助金総額 18,295,000 円、補助金申請額 15,439,000 円、申請クラブ数 51 クラブです。

本年度のグローバル補助金の活用状況として、事業終了1クラブ、事業実施中1クラブ、ロータリー財団から補助金が拠出済み2クラブ、クラブから補助金申請終了1クラブ、事業企画中は数クラブです。

補助金のルールとして、参加資格は全ての補助金事業開始年度に対し1事業のみ申請可能、申請書の提出期間:当該年度1月～3月、事業の執行期間:当該年度の7月～2月末、補助金申請上限額:1クラブ100万円迄。グローバル補助金関連は地区が補助するDDFからの総額5万米\$以下。

地区補助金 NG としては、事業内容を勝手に変更しない事、単なる寄付金事業や他団体が主催する事業に相乗りするだけの事業(要相談)、補助金支給額に対しクラブ拠出金が50%未満、最終報告書に添付する資料などの不備(領収書、記録写真)、補助金専用口座を設けず資金使途が明確でない事業などです。

VTT 活動は、地域社会の人々の能力や技術

を高めることを目的に、専門家チームが海外に赴いて、知識・経験を生かして現地の専門家に技術指導を行ったり、あるいは指導を受けるものです。

過去4年間のグローバル補助金事業は、2010/2011年度5890地区（アメリカ・ヒューストン）に医療研修チームを派遣。2011/2012年度9600地区（オーストラリア・ブリスベン&ソロモン諸島）に医療研修チームを派遣。2012/2013年度7070地区（カナダ・トロント）と医療研修チームを派遣・受入れ。2013/2014年度3780地区（フィリピン・ケソン市）と医療研修チームを派遣・受入れ。

今年度のVTT活動は、今年度は3310地区（マレーシア・シンガポール・ブルネイ）とのVTTを計画中。テーマ「疾病予防と治療」。

ロータリー平和フェローシップとは、ロータリー財団の教育的プログラムです。国際関係、平和、紛争解決の分野におけるキャリアを志し、すでにこれらの分野で経験を積み、社会奉仕や人道的国際奉仕への熱意を示すとともに、平和のために尽くす意欲のある人を対象とし募集しています。

ロータリーのポリオ撲滅への挑戦は、①1979年ロータリーが初めてポリオプラスプロジェクトに携わる。②1985年ロータリー創始80周年に当たって、「ポリオプラスプログラム」を設ける。③1995年規定審議会において2005年迄にポリオの撲滅を証明することを採択。④2007年規定審議会において、ポリオの撲滅をロータリーの最優先プロジェクトとすることが確認される。11月にゲイツ財団がロータリーに1億ドルのチャレンジングラントを授与。これを受けてロータリーは2008年1月1日より3年に亘り1億ドルを集めることを約束。⑤2008年ゲイツ財団が更に2億5500万ドルの寄贈を声明、ロータリーも2012年6月30日までに更に1億ドルを上乗せすることを承諾。⑥2012年ロータリー2億ドルチャレンジ達成。

ポリオのない世界まで本当に「あと少し」。歴史的な偉業を成し遂げよう。さまざまな支援方法として、①募金活動（資金を確保）②啓蒙活動 ③アドボカシー活動

地区ポリオ・プラス委員会の活動として、ロータリー最優先プロジェクト「ポリオ撲滅」の重要性を広報、インドNIDへ参加です。

資金委員会は、継続的な寄附を通じて、ロータリー独自かつ唯一の慈善事業を支援。Every Rotarian Every Year (E R E Y) の日本の目標\$150。ポール・ハリス・ソサエティ/地区PHSコーディネーターの任命。寄附ゼロクラブの解消。ロータリーカード（特に、法人用クレジットカード）の普及。恒久基金/大口寄附アドバイザー (EMGA) です。

1人当たり150ドルの寄付、1クラブ1人のベネファクター、そしてロータリーカードへの加入をお願いします。ご清聴ありがとうございました。

★ニコニコボックス

太田 稔会員 誕生日を祝って頂き
柴田浩志会員 〃
柴田 勝会員 〃

★委員会活動報告

11月3日に会長・副会長・幹事・社会奉仕委員会で視察を兼ねてWFFに行ってきました。



会報担当：河本圭史会員・大場 篤会員